

目標達成計画

作成日: 令和4 年 12 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	・共同トイレが混雑しがちである。	・混雑を解消し、スムーズにトイレ誘導ができる。	・排泄パターンを見直し、混雑時に重ならないように誘導する。 ・トイレに行く方を見るとその都度トイレに行く方がいるのでトイレ以外に関心を持っていただけるようにする。	6ヶ月
2	38	・コロナ禍により面会の制限があり、家族や大切な方との関わりが制限されている。	・電話や手紙などで家族や大切な人とのかわりの機会を増やす。	・電話で会話ができる方は、折々に電話をし会話を楽しんでいただく。 ・名前や文章の書ける方には、絵手紙などを書いていただく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和4年度さくら館

No.	タイトル	評価項目	自己評価 さくらユニット	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場の事務スペースやスタッフルームの目につくところに基本理念を掲示し、共通認識の下実践につなげるように努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため中止となっていた町内会の夏祭りが再開され、お祭りやお神輿が来て下さり、密にならないように距離を保って見学することが出来、交流の機会となりました。	・訪問販売などでの買い物等、できる範囲で続けていき、刺激になってほしい。 ・自治会でも行事計画はしているが今のところ学校から児童の参加は許可されていないためお神輿の時は役員や班長で地域を回った。コロナの状況をみながら徐々に行事ができるようになればいいと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実態、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栃木市市民交流センターの会議室にて、人数制限を設けてはいるが、家族、自治会役員の方等に参加していただきテーマを決め運営推進会議を開催し意見交換することが出来た。	・もう少し家族の参加者ができるように日程など工夫したらどうか。 ・コロナ禍のため書面での開催だったが、現在は参加人数の制限はあるが、交流センターの会議室を利用することで空間を確保しながら多くの方に参加していただき、色々な意見を聞くことができていと思う。今後も継続してほしい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で話し合われた取り組みを地域包括の職員に伝え、協力関係を築いている。	・現在コロナ禍のため書面での開催が多い中会議を開催している施設は稀です。会議の中で取り組み等の報告ができていと思うので、続けてほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に身体的拘束適正委員会を開催し職員間で話し合い、実践している。		A. 充分にできている 6 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 2	・認知症の方を介護する側の負担を十分に理解しているのでよくやって頂いていると感謝している。 ・怪我もなく身支度もきちんとしていて、又、職員の方をととても頼りにしている様子から良い介護を受けていると思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待のニュースが報道されたときに職員同士で話し合ったり、内部研修で学ぶ機会を設けている。		A. 充分にできている 12 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 2	・研修等で学ぶ機会を設けていて、十分にできていると思う。 ・入居者の皆さんの穏やかな表情を見ればどれほど優しく対応されているかがわかる。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ◎. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の機会を設け、学んだことを活用できるようにしたいと思います。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約については管理者が利用者や家族に対して、理解や納得が得られるように説明し、疑問や不安がないか尋ねている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ伝える機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の時や面会時などに家族等からの意見や要望を伺い、利用者からも日常の会話の中から聞き出し運営に反映するようにしている。		A. 充分にできている 8 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 1	・面会時や電話連絡で意見や要望を聞いてくれて、運営に反映してくれていると思う。 ・推進会議の中での意見や要望が利用者の日常に反映されていると思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度のケース会議で意見交換したり、日常でも直ぐにできることは意見を反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に合わせた勤務時間や環境の整備に努めている。資格手当や休出手当等でやりがいを持ってもらえるようにし、研修や講習を紹介し向上心を持てるよう働きかけている。		A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 9 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 5	・困難の多い業務をさせていただいているので相応の評価、対価の支払いがあつて当然と思う。利用料の値上げになつたとしても正当な環境対応で職員を処遇してほしい。 ・職員の皆さんが明るくされているので良い環境だと思われる。 ・過酷な勤務はないのでしょうか(シフト)。 →体調不良やコロナ禍の影響で職員が欠勤することはありますが、通常時にはそのようなことはありません。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示板に社内外の研修を貼り、職員のレベルにあつた研修や、希望する研修を受けさせている。		A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 4	・職員一人ひとりがレベルアップする学びの機会を得られるよう望みます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ◎. あまりできていない	コロナ禍のため、外部の研修はオンライン研修に参加している。			

			D. ほとんどできていない				
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの方の出来ることをお手伝いして頂きながら、家族同様の生活をして頂いている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況を見ながら、短時間ではあるが面会をしたり、電話や年賀状でも近況報告をさせて頂いている。	・現在、制限はあるが面会可能で、電話対応の支援もできていると思う。家族は顔を見たいと思っているので感染対策を行いながら、継続する必要がある。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的にコミュニケーションを図り会話の中から本人の希望や意向を伺ったり、表情からも察している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を伺いそれをもとに、ケース会議などの場で職員同士で意見交換をして本人に合ったケアプランを作成している。	・自分の考えを伝えられない方の場合は本人の表情や日常の様子から把握するように努めている。 ・まめに連絡があり、本人の希望を大事にしてくれていると思う。日常生活のことについても話し合いがされているのでこのまま継続してほしい。	A. 充分にできている 7 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 1	・本人がより良く生活していくために関係者間で連携、共有され、ケアプランが作成されているので、本人に合ったケアプランになっていると思う。 ・コロナが早く終息し、家族がもっと踏み込んだ関りが出来たら更なるアイデアも生まれると思うが、現状はこれで十分できていると思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランに添った支援をし、24時間の記録をしている。共有したい情報は連絡ノートに細かく記入し今後の見直しに繋げている。		A. 充分にできている 11 B. ほぼできている 2 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 2	・記録を通して職員間の情報共有に努め、今後の見直しにつながっていると思う。 ・情報の共有はもちろんだが、交換時の申し送りにほどのくらの時間を使っているのでしょうか？ →10分程度です。状態に変化のある利用者がいた場合には出勤した職員が分かるよう前日の様子から伝えます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態の変化が生じた場合、職員間で速やかに対応できるよう心掛けている。一人での介助が困難な時は二人体制で介助するなどしている。	・同施設内のデイサービスの看護師や居宅のケアマネ、福祉用具の方たちにも相談したり、対応していただいているとのことなので、継続してほしい。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問美容室や訪問歯科、コンビニ等の移動販売などがあり、コロナ禍の中で少しづつではあるが、地域との関係を断ち切らないように支援している。	・訪問歯科のサービスが始まり、毎週や隔週等、その方に合った口腔のケアをしてもらいとても良いと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問診療(月2回)、訪問看護(週1回)、訪問歯科診療(希望者週1回)があり、緊急時の対応や24時間連携が取れる体制です。状態により専門的な受診が必要な時はご家族にもご協力いただいで迅速に受診できるように連携している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時には病院、病院関係者、家族と連絡をとるなど、情報交換をしている。現在、入院者はいない。		A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 4	・入退院時には病院との連携を図るように努めていて安心感がある。 ・長期入院の場合、退院した時にまたケアーズに戻る体制はどのようになっていますか？ →3ヶ月間は部屋を空けておくことができます。3ヶ月以上入院となると、グループホームに戻れない方がほとんどです。もし当ホーム以外に移る場合には病院のソーシャルワーカーがその方に合った施設を探してくれますし、当ホームでもそのお手伝いをさせていただきます。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や看取りについては家族と契約時に施設で出来ることを丁寧に説明し以後も、定期的に家族の意向を確認している。		A. 充分にできている 13 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 2	・契約後も定期的に意向の確認ができている。 ・家族は安心して託しつつ、共に考えることができている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の手順や連絡網を事務スペースに掲示し、定期的に緊急時についての対応を確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を実施しているが、サイレンが鳴っても関心を持たず全く動こうとしない方もおられるのが現状です。緊急時には自治会の議題にも取り上げていただいでおり、協力体制を築いています。	・自治会では市と連絡して、防災に対する組織を作ることを検討している。公民館を避難場所として飲み水や防災用品の準備をしている。ケアーズで行われる避難訓練に自治会も参加したいと思っている。 ・備蓄品の見直しや夜間想定訓練、対策が課題です。	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答(分からない) 2	・職員間で災害時の対応を検討し、地域との協力体制も築けている。 ・自然災害への備えはどんなに努力しても完璧はありません。思う様に動けない入所者を避難させるだけでも大変なことだと思う。

III その人らしい暮らしを続けるための日々の支援